

新除草・調節剤

る T L M 値は 2.4 P A (N a) 40 ppm 以上,
A T A 570 ppm で全く実用上問題は無い。

使用上の注意：水稲刈取後マツバイと同様に
水稲刈取後 10 日以内に製品 30 g / a を散布
するが、適用地帯は暖地、温暖地の早期栽培地
帯に限られている。

粒状スエップ

M C C 除 草 剤

(事 務 局) ス エ ッ プ 普 及 会

(取扱メーカー) 日産化学工業株式会社
日 本 農 薬 株式会社
北興化学工業株式会社

対象作物：イグサ

性状・作用特性：本剤は、メチル N- (3, 4
ジクロルフェニル) カーバメート 15 % を含む
粒剤である。

イグサ田で、3 月に D B N 粒剤を処理した後、
4 月に M C C 粒剤を処理することによって、薬
害がなく、高い除草効果が得られる。

M C C 粒剤は、土壤中の移動性が小さく、持
続期間の長い除草剤であり、土壌処理効果だけ
でなく、発生初期の雑草を枯殺する茎葉処理効
果をあわせもっている。

すでに、省力を目的として、陸稲・落花生・
大豆・甘藷に実用化されている。

毒性：人畜に対する急性経口毒性は、LD₅₀
値は 522 mg / Kg (ラット) , 経皮毒性は 2, 4
80 mg / Kg (ラット) である。魚毒性は、T L
M 値 (48 時間) は、2.6 ppm (コイ) である。

使用方法：対象雑草 (スズメノテッポウ・ノ
ビエ・カズノコグサ・ミゾハコベ・タガラシ・
ベニタデ) に対しては、3 月上旬に D B N 粒剤
を 10 a 当たり 5 ~ 6 Kg 散布した後、本剤を
10 a 当たり 6 ~ 8 Kg を処理する。処理時の湛
水深は 3 ~ 5 cm で、手または散粒機で均一に散
布する。

使用上の注意：適用地域は瀬戸内海地方のイ
グサ田で、砂土を除く全土壌で処理することが
できる。

編 集 後 記

暖冬を思わせた先月末の気温も、12 月に入
るや急激に下がり、秋からいっきよに厳冬に入
ってしまった。

本号では、果樹関係生育調節剤に片寄った編
集になったが、これによって総まとめの役割
を果たすことができたと思う。園芸試験場興津
支場の山本正幸氏より「最近の果樹関係生育調
節剤」、山梨県果樹試験場の佐久間信夫氏より
「ブドウの新生育調節剤について」貴重な原稿
をいただき、本誌を飾ることができました。

なお、本誌編集のマネリ化をさけるため、

読者各位の投稿を歓迎いたします。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町 26 番地
電話 東京 (03) 502-4188 (代)

昭和 45 年 12 月発行

第 4 巻 第 8 号

¥ 70 (送料 35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河 田 党
発行人 植調編集印刷事務所 広 田 伸 七

東京都港区芝愛宕町 1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京 (03) 436-3388 番